

松本歯科大学歯科放射線学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の資料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、資料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	顎関節症患者における MRI 画像所見と臨床所見の比較検討
研究責任者	歯科放射線学講座 山田真一郎
研究期間	2025 年 4 月 11 日～2029 年 3 月 31 日
研究の目的・概要	MRI 画像所見と顎関節症の臨床所見との関係を明らかにします。 松本歯科大学病院にて診断を行った MRI 画像を用いて、下顎頭の骨変化の有無、顎関節円板転位の有無及び方向、開口位における顎関節円板復位の有無及び関節腔における炎症所見の有無を評価します。また、統計を用いて性別・年齢・症状側、発症から来院までの期間、顎関節部圧痛・関節雑音・開口障害ないし顎運動異常の有無による傾向を調べます。この研究結果より、症状側の関節腔内の異常所見にとどまらず、自覚症状のない非症状側での顎関節円板転位の存在が明らかになり、顎関節症患者の診断や治療法の選択において重要な基準を提供できることが期待されます。
利用又は他機関に提供する情報	2018 年 8 月～2025 年 2 月までに松本歯科大学病院で顎関節症疑いで撮影を受けられた方の以下の資料・情報を利用します。 資料：MRI 画像 情報：性別、年齢、疾病名、症状側、発症から来院までの期間、顎関節部圧痛・関節雑音・開口障害ないし顎運動異常の有無
試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	顎関節症疑いで撮影された MRI 画像を資料として利用します。下顎頭の骨変化の有無、顎関節円板転位の有無及び方向、開口位における顎関節円板復位の有無及び関節腔における炎症所見の有無を確認し、性別・年齢・臨床所見を利用し、統計的手法を用いて関連性を見出します。
試料・情報を利用する者の範囲	・ 歯科放射線学講座・助教 山田真一郎 ・ 歯科放射線学講座・教授 田口 明 ・ 歯科放射線学講座・准教授 杉野紀幸 ・ 歯科放射線学講座・講師 長内 秀
問い合わせ先	松本歯科大学歯科放射線学講座 山田真一郎 電話：0263-51-2096